



Q：「肺炎球菌ワクチン」について教えてください。

A：日本人の死因は、これまでに1位・悪性新生物（がん）、2位・心疾患、3位・脳血管疾患（脳卒中）が三大死因でしたが、近年では肺炎が増加しており、平成23年の統計から3位は肺炎となっており、さらに、肺炎で亡くなる方の約95%が65歳以上の高齢者であり、その4分の1から3分の1は肺炎球菌が原因なのです。肺炎球菌は主に小児の気道分泌物に含まれる細菌で、咳やくしゃみによって周囲に飛び散り、飛沫感染を起します。体の抵抗力が低下している人などが肺炎球菌に

感染すると、肺炎などの肺炎球菌感染症を起こすのです。

そこで特に高齢者では肺炎球菌による肺炎を予防することが重要と考えられ、平成26年10月から、高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの定期接種の制度が開始されました。肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌感染を100%予防できるものではありませんが、



少なくとも重症化を防ぐことができます。定期接種の場合、対象年齢が決まっていますのでご確認ください。

（岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F）

☎0555・2888・1801